

# 放課後子ども教室会津地区研修会

福島県教育委員会

〈日時〉 平成30年7月18日(水) 9:10~16:30  
〈会場〉 会津若松市立河東学園小学校  
〈参加者〉 110名



## 講演

「子どもの気持ちの肯定的なとらえ方」

講師 NPO 法人明日飛子ども自立の里理事長 清水 国明 氏

参加者が日頃から悩んでいる点に焦点化を図ることで、的確な助言等を受けることができた研修会でした。子どもを肯定的にとらえ寄り添うことの大切さについて再認識することができ、感情をはき出すプログラムとしての「ティッシュ箱つぶし」は参加者にも好評を得ることができました。

- ・自信を育むことがすべてのベースになる
- ・わかろうとする、変えようとしな
- ・ありのままを聴く

## 【受講者の声】

- 「生きているだけでOK」「子ども達にOKのシャワーを」という言葉が心に残りました。肯定的にとらえて、受容するということが、とても難しいことだと思いました。自分の気持ちにも余裕がなければならぬと思いました。
- こどもたちを否定しない。そのまま受けとる。ありのまま聞く。出来ることから始めて、こどもたちに寄り添っていきたいと思った。



## 実践発表 1

「学園キッズ放課後子ども教室」の取組

発表者 学園キッズコーディネーター 土橋 和代 氏

放課後子ども教室を開催するとき、どのように地域の人材を生かして進めているのか、具体的な例を挙げながらの実践発表でした。放課後子ども教室発足時の苦勞や運営上の安全管理・施設管理を公民館、学校とも情報交換を密に行いながら進めている様子を紹介していただきました。また、児童クラブとの連携についても他の教室でも大いに参考にできると感じました。

【放課後子ども教室見学】 実際の活動の様子を受付時から自由に参観いただいた。

プログラム・・・工作、折り紙、手品、囲碁将棋、パソコン



## 実践発表 2

### 「金小ゆうがたクラブ・よこたふれあい教室」の取組

発表者 金山町教育委員会教育係長 五ノ井 智徳 氏

保護者のニーズにより放課後子ども教室事業を開始し、町独自の取組として成果を挙げている様子を発表いただきました。「大人が変われば子どもも変わる」「地域の子どもは地域で育てる」の信念のもと工夫されたプログラムの様子を紹介していただきました。児童クラブとしての役割もあり、他の教室でも大いに参考にできる発表でした。

○地域社会の教育力・子育て力を育てる

- ・地域の子どもは地域で育てることにより、子どもを通して地域を元気にする。



## グループ協議・情報交換

### 【コーディネーター等】

- ・活動時間が短いことが問題
- ・共通して改善したい点としては、全学年がそろわなかったりして、全員で行う活動がしにくい。

### 【活動指導員・安全管理員等】

- ・安全管理員の確保がなかなか難しい。
- ・学校や家庭での態度と全く異なる行動を知ってもらうため、保護者にも様子を見てもらいたい。

### 【行政】

- ・気になる子ども達への対応のところで、教育事務所に相談をして、会津支援学校の先生に来ていただき、いろいろな話を聞くことができ参考になった。
- ・子ども一人一人を見ることは難しいが、子どもの気持ちを考えていきたい。
- ・児童クラブと放課後子ども教室の違いをわかってもらう必要がある。
- ・安全管理員や活動指導員の研修が必要。



